

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

| | | | |
|------------|---|-------|-------|
| 施設名 | 秦野精華園 | | |
| 所在地 | 秦野市南矢名三丁目2番1号 | | |
| サイトURL | http://www.kyoudoukai.jp/ | | |
| 根拠条例 | 神奈川県立の障害者支援施設に関する条例 | | |
| 設置目的(設置時期) | 障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設 | | |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人かながわ共同会 | | |
| 指定期間 | H18. 4. 1～H29. 3. 31 | 施設所管課 | 障害福祉課 |

2. 総合的な評価

| 総合的な評価の理由と今後の対応 | |
|---|--|
| <p>利用者の満足度がA評価、収支状況がS評価となったため、3項目評価はSとした。なお、利用状況については、29年度の民間移譲に向けた調整を段階的に進めている状況であるため評価の対象外としている。引き続き、29年度の民間移譲に向けた調整を所管課と連携し、実施していく。</p> | |
| <p><各項目の詳細説明></p> <p>【管理運営等の状況】 地域サービス事業の一つである就労サポート事業では就労実習32名（延べ339日）、就労7名の実績をあげた。利用者のニーズに対応するため、各種研修の実施等により、利用者支援の充実に努めた。</p> <p>【利用状況】 29年度の民間移譲に向けた施設の再整備、運営体制の見直しのため、入所利用者数を段階的に縮小しており、前年度比で4.2%の減となっているが、民間移譲に向けた調整によるものであり、評価の対象外とする。</p> <p>【利用者の満足度】 施設を利用する知的障害者の障害特性から4段階評価による満足度の評価は困難であることから、「はい」「いいえ」の2択で回答できる「利用者アンケート」を実施した。回収率は81%であり、概ね満足しているとの回答結果であった。上位の回答割合が78.7%となったため、A評価となった。</p> <p>【収支状況】 入所利用者数の減に伴い収入は当初予算比で5.6%の減であるが、支出が当初予算比で9.5%の減であったため、収支差額は当初予算比197.39%となりS評価となった。</p> <p>【苦情・要望等】 27年度の苦情、要望は0件であったが、寄せられた苦情や要望については真摯に向き合い、迅速に対応するよう指導している。</p> <p>【事故・不祥事等】 ひやりはっと報告書、事故報告書の集計と分析等を行い、事故の未然防止に努めている。</p> <p>【労働環境の確保に係る取組状況】 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> | |

| | |
|-------|---|
| 3項目評価 | S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 |
| S | ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう |

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

| | | |
|-------------------------|--------------|----------------------|
| 月例業務報告 確認 | 遅滞・特記事項があった月 | 特記事項または遅滞があった場合はその理由 |
| | | |
| 現場確認 | 実施日 | 特記すべき事項があった場合はその内容 |
| | | |
| 随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無 | 有・ 無 | 指導・改善勧告等の内容 |

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

| 事業計画の提案内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|------------------|---|--|
| 施設運営・経営の強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園内はばたきプロジェクトを計10回開催し、民間移譲後の支援体制、新施設構想検討等を行った。 ・ファシリティマネジメントについては、県との役割分担に基づき平成29年度までの素案を作成、平成28年度より実務に着手する。 ・経営面では、経営会議を通じてコスト削減に取組み、適性な予算執行ができた。 | |
| 利用者支援の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を中心に利用者の希望やそれぞれの多機能型事業の内容や取組みに沿った自己実現を推進した。 ・多様化する障害に対応するため、職員のスキルアップ研修に取組んだ。 ・定期的に非常勤職員向けの研修を実施し障害への専門を高めた。また、人権擁護への研修も含めスキルアップを図った。 ・事故防止の啓発活動として、年4回ひやりはっとニュースポスターの発行を実施し、意識づけとして取組んだ。 | <p>多様化する障害についての勉強会を実施した。 (実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害コミュニケーション研修 ・SST研修 ・てんかんセミナー ・強度行動障害(危機介入)研修 |
| 権利擁護・虐待防止への取り組み。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して計画的に研修、職員への意識付け等、会議・委員会を中心に取組んだ。 ・利用者自治会へ積極的な支援を行い、具体的な成果と人権擁護の取組みとして位置づけた。 ・利用者向けアンケートを定期的に行い、利用者中心の支援を心掛けた。 | |
| 地域との積極的な連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「秦野市相談支援事業所連絡会」に8回参加、「伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会相談支援部会」に7回参加した。 ・「かながわ福祉サービス振興会」の要請を受け、グループホーム開設説明会に講師を派遣した。 ・地域交流事業の推進については、東海大学生とのパン制作を中心に継続し交流を図った。また、地域の方との交流として園芸教室・パン作り教室を開催した。 | |

[参考：自主事業]

| 事業計画の提案内容 | 実施状況等 |
|-----------|-------|
| | |
| | |

5. 利用状況

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。 |
| — | |

| | 前々年度 | 前年度 | 平成27年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 利用者数※ | 34,201 | 33,907 | 32,183 |
| 対前年度比 | | 99.1% | 94.9% |
| 目標値 | 100 | 100 | 100 |
| 目標達成率 | | | |

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため

利用者数の算出方法（対象）： 入所者の延べ人数

[参考：最大利用可能人数／年]

| | 施設入所 | 短期入所 | 就労支援（生活訓練） | | | 合計 |
|----------|--------|-------|------------|--|--|--------|
| 定員 | 100 | 10 | 160 | | | |
| 年間利用可能日数 | 366 | 366 | 270 | | | |
| 最大人数※ | 36,600 | 3,660 | 43,200 | | | 83,460 |
| 稼働率 | | | | | | |

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う |
| A | |

| | | |
|------------|--------------|--------------------------------|
| 満足度調査の実施内容 | 協定に定めた調査内容 | 実施結果と分析 |
| | 利用者自治会の定期的開催 | 利用者向けアンケートを定期的に行い、意見の聞き取りを行った。 |

[施設としての総合的評価]

質問内容 自分のいる課は好きですか。

実施した調査の配布方法 配布 回収数／配布数 124 / 153 = 81.0%

配布(サンプル)対象 施設利用者

| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらか といえば 不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答があつた 場合はその理由 |
|---------------------|--------|--------------------|--------------------|-------|-----|---------------------------------------|
| 施設としての総合的 評価の回答数 | 96 | | | 26 | 122 | ・楽しくない。 ・給料をもっと欲しい。 ・単独外出ができない。 |
| 回答率 | 78.7% | | | 21.3% | | |
| 前年度の 回答数 | 75 | | | 34 | 109 | |
| 前年度回答率 | 68.8% | | | 31.2% | | |
| 回答率の 対前年度比 | 114.4% | | | 68.3% | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 困った事・悩み事を相談できる人はいますか。

実施した調査の配布方法 配布 回収数／配布数 124 / 153 = 81.0%

配布(サンプル)対象 施設利用者

| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらか といえば 不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答があつた 場合はその理由 |
|-----------------|--------|--------------------|--------------------|-------|-----|-----------------------------|
| 職員の対応状況の 回答数 | 108 | | | 6 | 114 | ・職員との相性が悪い。 ・指示されることが多い。 |
| 回答率 | 94.7% | | | 5.3% | | |
| 前年度の 回答数 | 97 | | | 23 | 120 | |
| 前年度回答率 | 80.8% | | | 19.2% | | |
| 回答率の 対前年度比 | 117.2% | | | 27.5% | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

施設利用者の大半が軽度の知的障害を有しており、4段階評価による回答は困難であることから、「はい」「いいえ」の2択で回答できるアンケートを実施しており、結果を記載している。

7. 収支状況

| | |
|----|--|
| 評価 | 《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満 |
| S | |

[指定管理業務]

(単位:千円)

| | | 収入の状況 | | | | | 支出の状況 | 収支の状況 | |
|------|------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|---------------------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | その他収入の内訳 | 収入合計 | 支出 | 収支差額 | 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額 |
| 前々年度 | 当初予算 | 199,683 | 477,337 | 74,626 | 備考欄参照 | 751,646 | 746,474 | 5,172 | |
| | 決算 | 199,683 | 498,088 | 130,246 | 備考欄参照 | 828,017 | 990,175 | -162,158 | -3135.31% |
| 前年度 | 当初予算 | 200,031 | 503,086 | 91,798 | 備考欄参照 | 794,915 | 756,114 | 38,801 | |
| | 決算 | 200,031 | 504,984 | 74,257 | 備考欄参照 | 779,272 | 729,485 | 49,787 | 128.31% |
| 27年度 | 当初予算 | 201,760 | 489,573 | 82,704 | 備考欄参照 | 774,037 | 745,662 | 28,375 | |
| | 決算 | 201,760 | 470,726 | 58,947 | 備考欄参照 | 731,433 | 675,423 | 56,010 | 197.39% |

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考> その他収入の内訳

○25年度

当初予算

・就労支援事業収入 61,609
・経常経費補助金収入 30
・寄付金収入 2,150
・雑収入 10,807
・受取利息配当金収入 30

決算

・就労支援事業収入 64,181
・補助金事業収入 54
・経常経費補助金収入 1,518
・寄付金収入 2,808
・雑収入 10,758
・受取利息配当金収入 29
・会計単位繰入金収入 651
・経理区分間繰入金収入 8,797
・移行時特別積立預金取崩収入 41,450

○26年度

当初予算

・就労支援事業収入 69,172
・経常経費寄付金収入 2,060
・受取利息配当金収入 30
・その他の収入 10,746
・積立資産取崩収入 6,895
・サービス区分間繰入金収入 2,895

決算

・就労支援事業収入 54,110
・経常経費寄付金収入 2,240
・受取利息配当金収入 30
・その他の収入 11,343
・積立資産取崩収入 6,534

○27年度

当初予算

・就労支援事業収入 70,307
・経常経費寄付金収入 2,066
・受取利息配当金収入 30
・その他の収入 10,301

決算

・就労支援事業収入 48,970
・経常経費寄付金収入 3,742
・受取利息配当金収入 0
・その他の収入 6,235

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

| 時期(年・月) | 金額(千円) | 工事箇所・内容(金額(千円)) |
|----------|--------|-----------------------|
| 平成27年12月 | 3,564 | 管理棟地下揚水ポンプ交換工事(3,564) |
| 平成28年3月 | 194 | 更生居住棟高架水槽塗装改修工事(194) |

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

| | 金額 (千円) | 内 容 (金額 (千円)) |
|-----|---------|----------------|
| 収 入 | | |
| 支 出 | | |
| 積 立 | | |

8. 苦情・要望等

| 分野 | 報告件数 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------|----|------|
| 施設・設備 | 0 件 | | |
| | 0 件 | | |
| 職員対応 | 0 件 | | |
| | 0 件 | | |
| 事業内容 | 0 件 | | |
| | 0 件 | | |
| その他 | 0 件 | | |
| | 0 件 | | |

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

| 発生日 | 事故等の概要 | 原因・問題点 | ①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング [※] ・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況 |
|--------|--|-------------------------------------|---|
| 12月20日 | 18:30頃、日課である夕食後のゴミ出しのため、外の集積所へ出寮し、そのまま所在不明となる。 | 本人の所在を確認する時間と職員が判断するまでに時間がかかってしまった。 | ①発生時より園内・園外と搜索する。21:00秦野警察署に一時所在不明届けを提出する。 本人の出身地の新松田駅周辺にて知人より通報あり、22:30帰園する。 気づくのに時間がかかってしまったこともあり、外出リスト一覧表を作成し、職員がより把握しやすいものを作成し周知した。 |

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

| 確認項目 | 指摘事項の有無 | 備考 |
|-----------|---------|----|
| 法令に基づく手続き | 無 | |
| 職員の配置体制 | 無 | |
| 労働時間 | 無 | |
| 職場環境 | 無 | |

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。